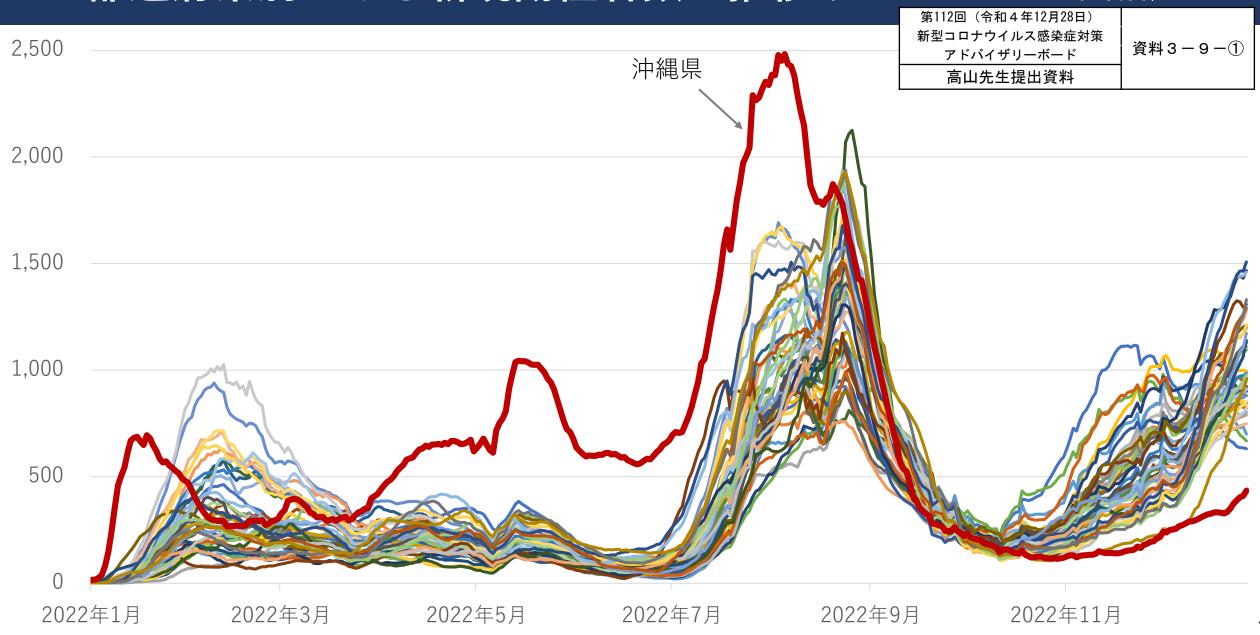
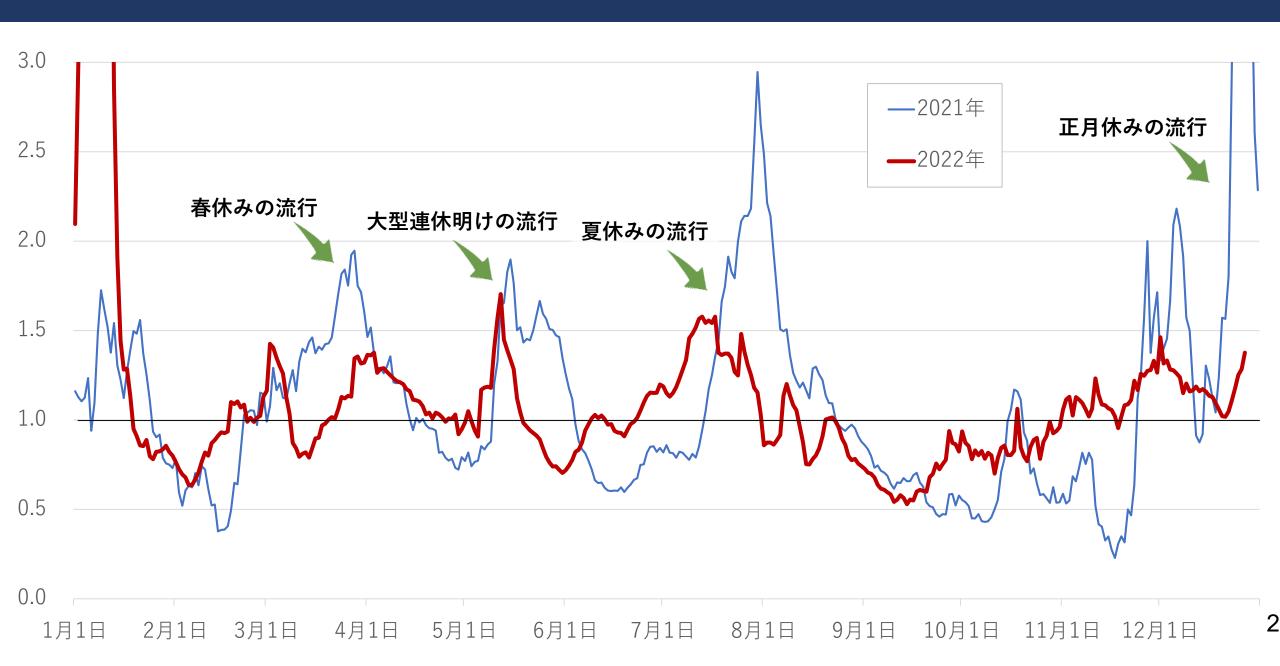
都道府県別にみる新規陽性者数の推移(人口10万人あたり7日間合計)

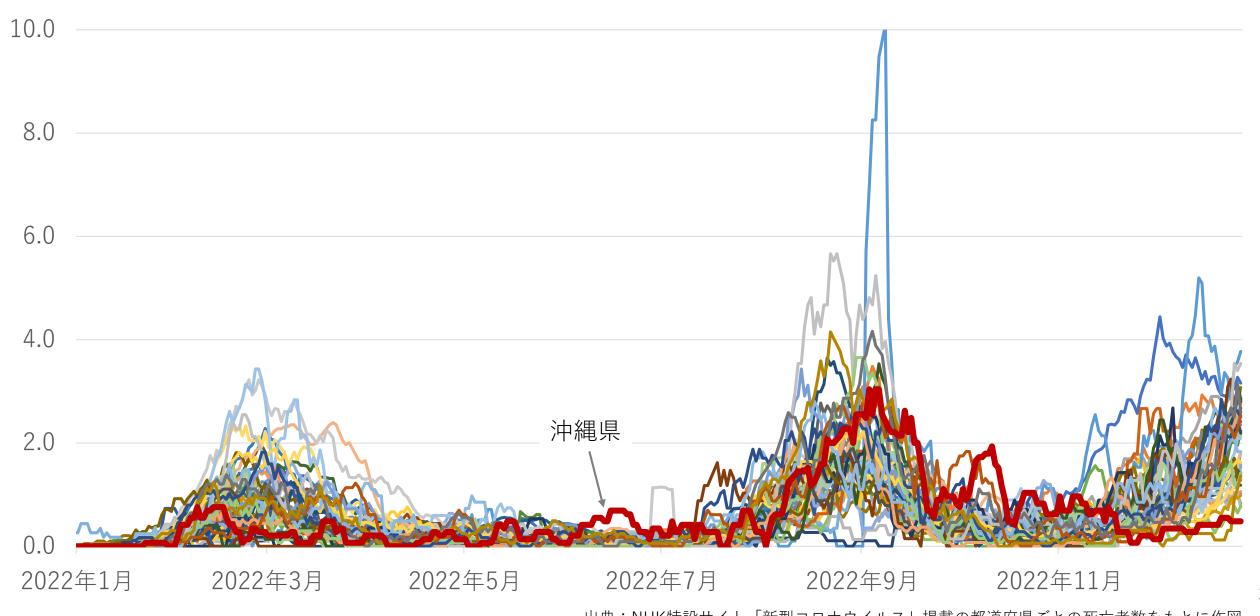


出典:厚生労働省:確定患者数(報告日ベース)の推移(都道府県別・各日)

沖縄県における前週比 (7日間移動平均) の推移

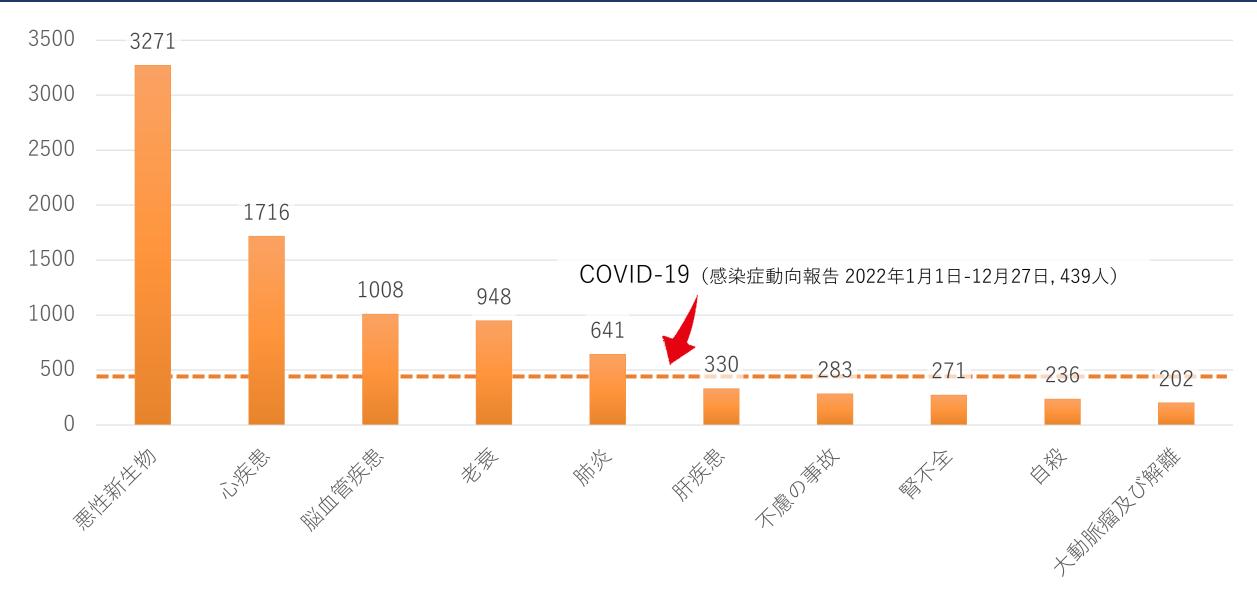


都道府県別にみる死亡者数の推移(人口10万人あたり7日間合計)



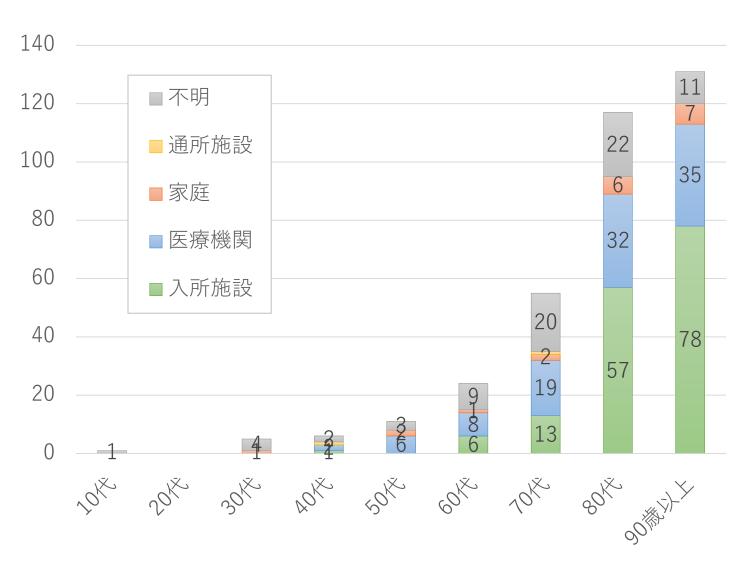
出典:NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの死亡者数をもとに作図

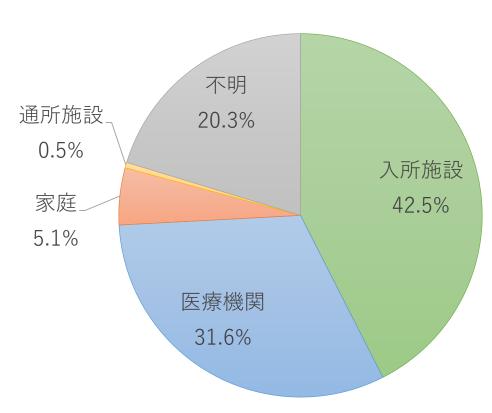
沖縄県における10大死因 (COVID-19発生前, 2019年)



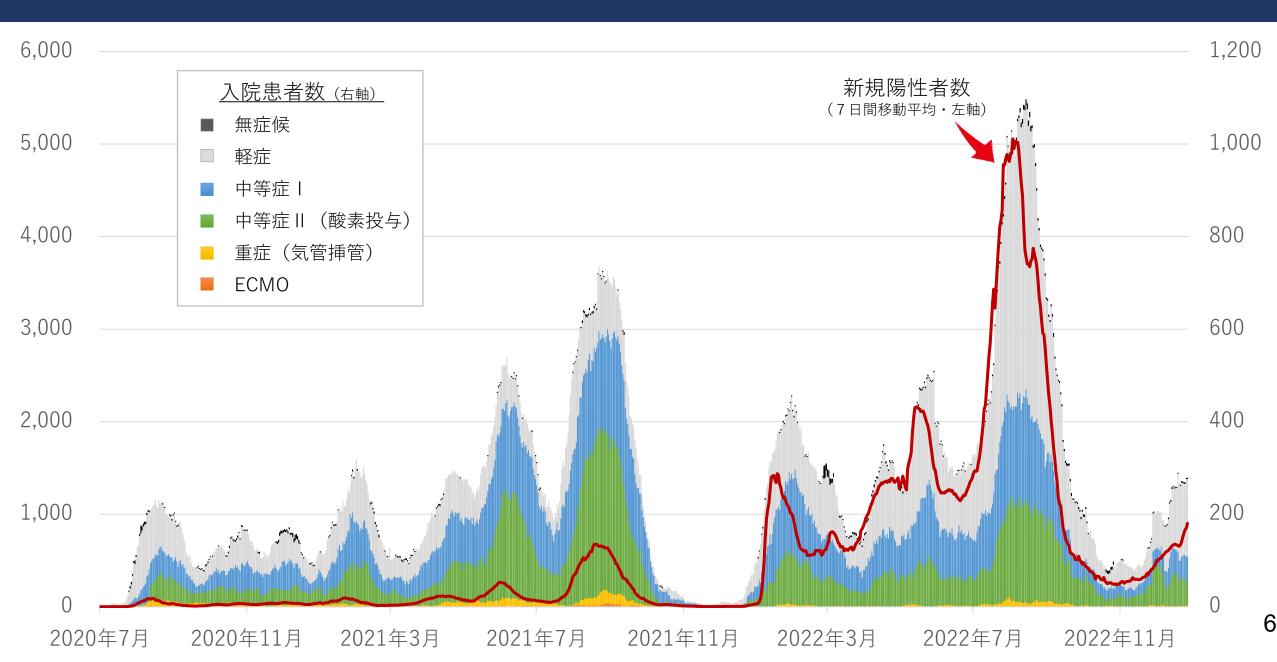
死亡者の年齢と推定感染経路(沖縄県)

沖縄県内において、2022年1月1日から11月30日までに死亡報告のあった414人について集計

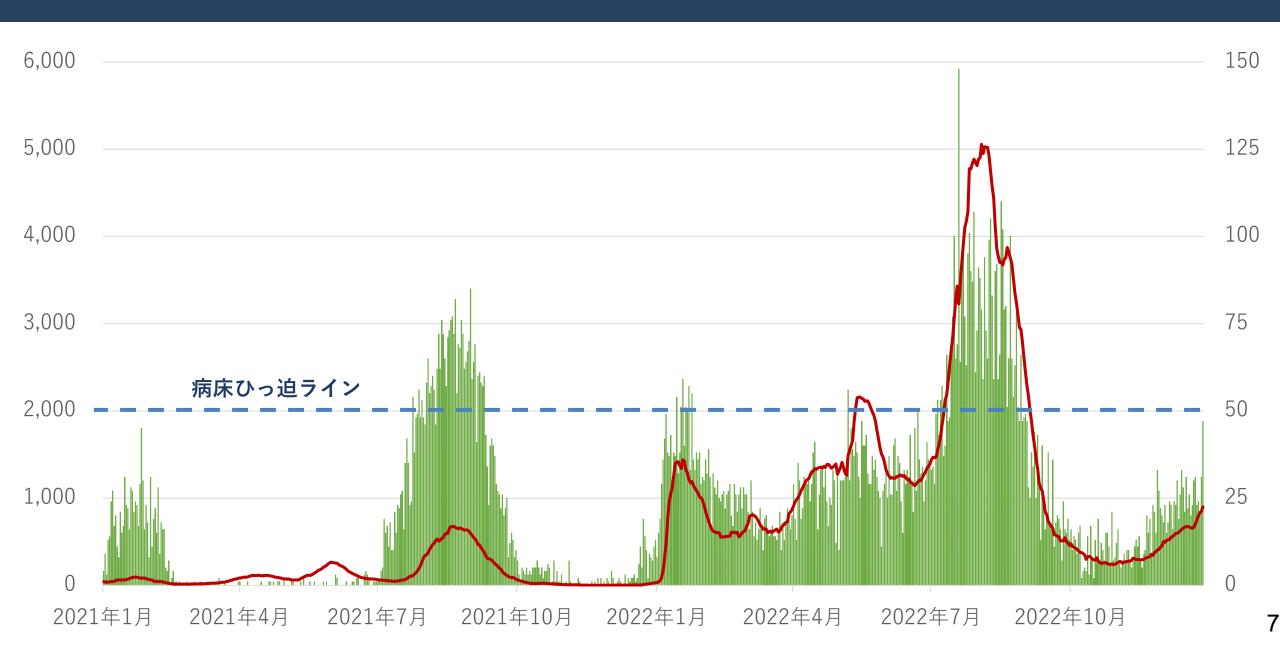




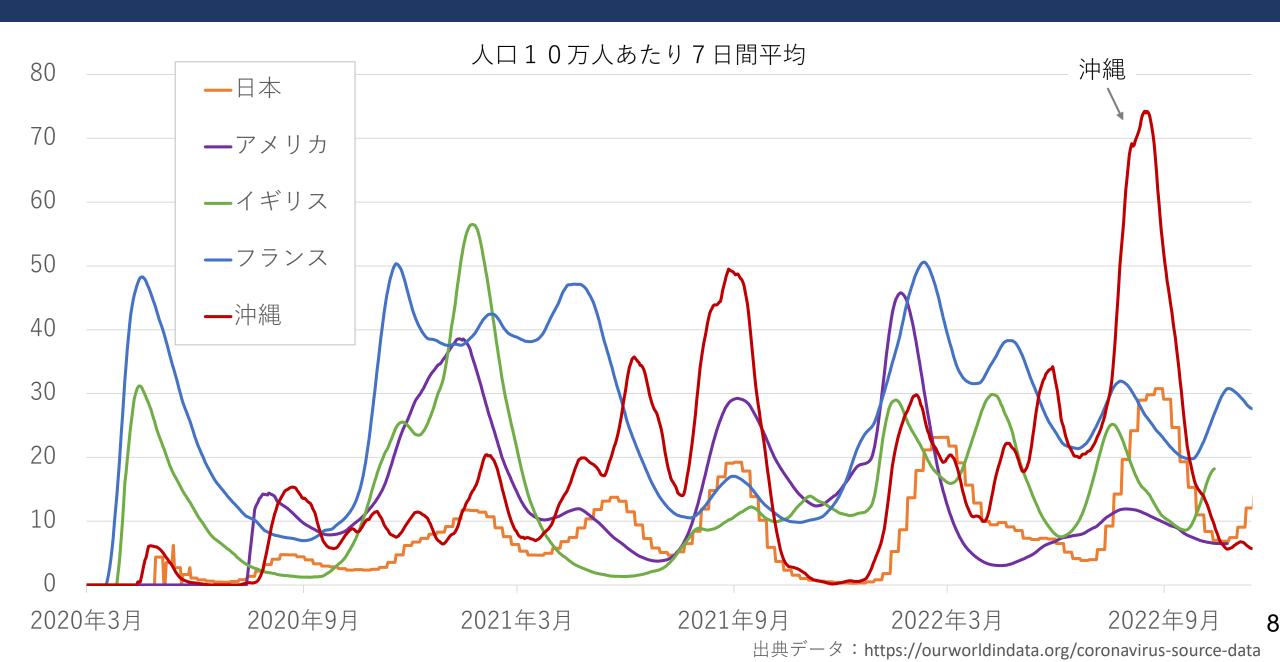
新規陽性者数と重症度別入院患者数の推移



新規陽性者数と新規入院患者数の推移



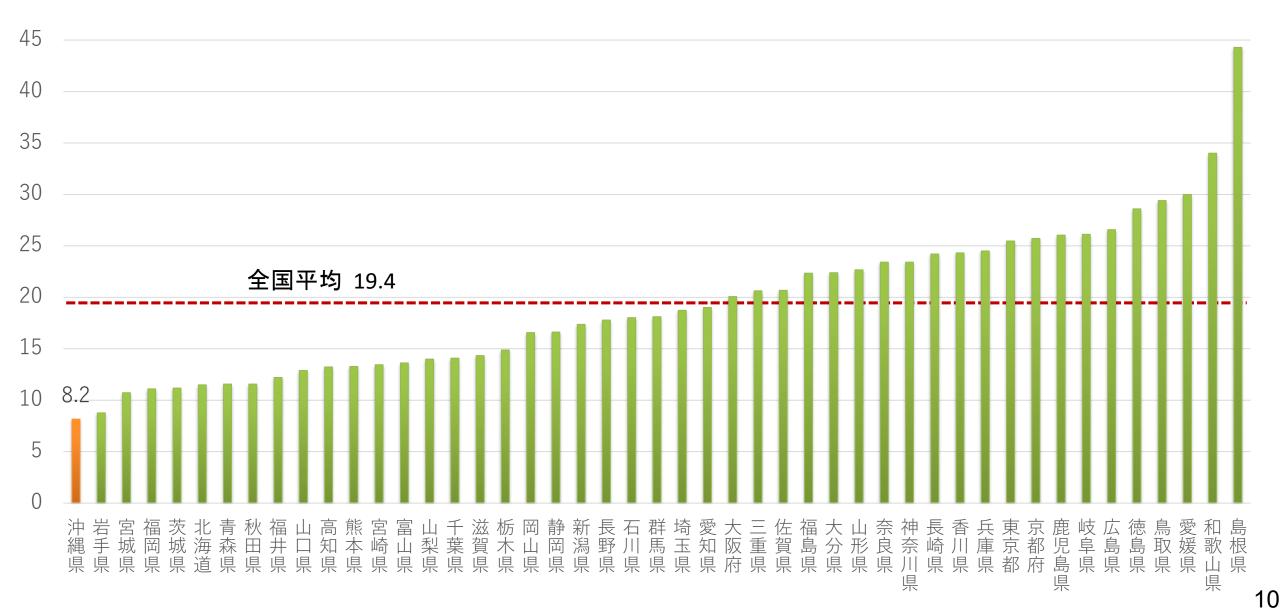
先進主要国と沖縄県における入院患者数の推移



都道府県別にみる一般病院の病床利用率 (2019年度)



都道府県別にみる往診料の算定回数 (人口千人対/2019年度)



143病床増が

2025年「地域医療構想」

是非を判断する検討プロセスを盛り込んだ。 と推計。県立北部病院と北部地区医師会病院の統合 の病床報告数よりも は22日、最後の構想検討会議を開き、素案を議論し体制の実現を目指す「地域医療構想」について、県 た。素案では、25年に県内で必要な病床数を、 2025年の医療需要を推計 403床多い1万5282床 気構想」について、県
し、必要となる医療

推計され、医療や介護の需 要も今後一層高まると予想

長や稲嶺進名護市長は北部 県医師会の宮里善次副会に進めることになる。 病床制度に基づいて計画的働率を踏まえながら、基準 の確保や偏在防止、病床稼実際の病床整備は医師ら

がった。 「訪問看護の強化」などを 盛り込むよう求める意見も がった。 2病院の統合に向けた早急

ತ್ತ

組みたい」と語った。県は 本年度内に構想を策定す 踏まえた対応が求められ 口構成や医療需要の実態を 「全国と異なる沖縄の人県の砂川靖保健医療部長

北部病院の統合検討

期と病床機能を四つに分け期、急性期、回復期、慢性 、急性期、回復期、慢性必要病床数は高度急性

リハビリなどを提

必要病床数(2025年) て推計

る一方で、急性期は1073141床増やす必要があ 供する回復期は現状よりも が過多状態となる。 6床が、慢性期は507床 部で1011床、中部で、圏域別の病床数では、 中部で7

4674

3348

13879床—+1403 — 15282床

4507

で67床、宮古で248

北部

宮古で248床、

高度急性期 1861

急性期 6504

慢性期 3855

病床報告数(2015年)

回復期 1533 +3141

過剰となる。素案では圏域八重山で56床が現状よりも ことの課題や今後の取り組 25年の沖縄は総人口が

みもまとめている。

126

2015年の病床報告数と2025年の必要病床数

中部地区の救急 満床慢性化

供する地域包括ケア を減らす取り組みとして、 機感を強めている。高齢化も進む中、今後できるだけ救急般送患者最も人口増加数が多い自治体も抱え、関係者は救急医療の維持に危 命に関わる危機的状況だ」と訴えた 部に関わる危機的状況だ」と訴えた。沖縄市や宜野湾市など県内でた協力を要請した中部地区医師会の中田安彦会長は「地域住民の生 システムの構築も鍵を握りそうだ。 で構成する中部医療圏の救急告示病院 3日に中部市町村会へ増床に向け 生活支援などを一体的に提

のいては全国統一の貨定 元により算出され、5年 元により算出され、5年 元により算出され、5年 元により算出され、5年 一、10の計画改定の際に 見直される。人口の急増 は見医療・事情がある場合 は見医療・事情がある場合 は見医療・事情がある場合 は見医療・事情がある場合 は見をの協議のよで特例で

病院における人口10万人と、中部医療圏の救急を、中部医療圏の救急を必た資料により、中国病院(宮里善次院) ■全国一の病床利用率 ライフ病院は約6割を南 さん 比べ最も少ない。ハートな 南部、北部、宮古、八重に はの他の県内4医療圏と は 南部、北部、宮古、八重に は のまの は 南部、北部、宮古、八重に は かんじゅうしゅう

医療維持 増床 要請 と師会は 地域 包括ケア 危機 んも鍵

いると発表した。 で、今後も増加が8月と 以上を占める約50万人

招く」と警鐘を鳴らした。
は「これでは現場が逼迫」は「これでは現場が逼迫」中で最も高い。伊礼所長 ■施設の連携強化

ハートライフ病院 (一般 300 床)

金武町

県立中部病院 一般 546 床)

搬送した人数は5年前と一市消防本部が15年に病院で増加傾向にある。沖縄 共 5 救急搬送数は各市町村 そのう

中頭病院

般 336 床

跪谷村

北谷町 宣野湾市

吊する。さらに行政の生活 期の病院が連携を強化するといる。 関の病院が連携を強化するといる要が、慢性 関の病院が連携を強化するといる。 関の病院が連携を強化するといる。 関の病院が連携を強化するといる。 関の病院が連携を強化するといる。 関係性期や回復期、慢性 は、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、ないのでは、は、ない、ないのでは、ない、ないのでは、ないのでは、な 存度が高まる可能性もあった。 高齢化で地域や家族が受け皿になれない。 が護難民。が増えれば、より救急医療への依 は、より救急医療への依 支援や在宅介護、老人ホ よこした取り組 あで、頻繁に枚急要請し あで、頻繁に枚急要請し たいた高齢者が、落ち着 たいて在宅で寝養できるよ につになった事例もちく と語る。こうした取り組 し、行政や地域住民に協 力を求めることもある」 院を訪れる患者の背景に、廃に取り組む県立中部病 て困窮して

2016年5月16日

安定させる効果も見込で、結果的に救急機送をで、結果的に救急機送を 地域と連携して訪問診

2016年12月13日 沖縄タイムズ

都道府県別にみる高齢者人口増加率(2020年→2025年推計値)

